

現在の皇居

江戸城跡一帯を指して皇居と呼んでいる。天皇の住居である「御所」、各種公的行事や政務の場である「[宮殿](#)」、[宮内庁](#)庁舎などがある。

皇居の大きさは、宮内庁管理部分の敷地が約 115 万 m² で、東京ドーム約 25 個分である。皇居外苑も含めた総面積は約 230 万 m² となる。

皇居周辺は 1 周が約 5km で歩道に信号機がなく、森・街路樹や濠の景観も楽しめることから、手軽なランニング（ジョギング）コースになっている（皇居ランニング）。高低差は約 26 メートル。初心者から上級者まで、幅広く走れる

1868 年（慶応 4 年）、明治天皇の東京行幸により東京の皇居となる。1873 年（明治 6 年）、それまで天皇の御座所とされていた江戸城西の丸御殿が火災のため焼失し、一時、赤坂離宮を仮皇居とした。1879 年（明治 12 年）西の丸に新宮殿を造営することが決まり、1888 年（明治 21 年）に明治宮殿が落成、しかし明治宮殿は太平洋戦争末期の 1945 年（昭和 20 年）5 月、空襲による飛び火で焼失した。



皇居・門

皇居の門は、一般人でも自由に通れる門、特別な日のみ通れる門、一般人は通れない門に分かれます。

下記で紹介した門の中で、半蔵門だけが一般人の通行が出来ない門となっています。皇居正門でも年 2 回、新年一般参賀と天皇誕生日一般参賀の時通行できます。

桔梗門

桔梗門の近くには、皇宮警察本部がある。

桜田門

桜田門は、皇居前広場へつながる門なので、自由に通行できる、安政 7 年 3 月 3 日(1860 年 3 月 24 日)に江戸城桜田門外（現在の

東京都千代田区霞が関）で水戸藩からの脱藩者 17 名と薩摩藩士 1 名が彦根藩の行列を襲撃、大老井伊直弼を暗殺した事件で有名である。

半蔵門

半蔵門は皇族方の出入りにも使われるため、門の近くまでは行けない。

また、年間を通して一般人の通行は出来ない。

乾門

乾門は一般人の通行できないが、外側からは見学可能、春季乾通り一般公開の時は通れる。

北桔橋門

北桔橋門は、皇居東御苑への出入口になっており、一般人の利用ができる。